

【NTT×三菱マテリアル新会社の事業構想】

NTT サーキュラストが目指す資源循環市場

～循環価値が、選ばれる理由になる社会へ～

一 講 師 一 NTT サーキュラスト株式会社 代表取締役社長 宮崎 敬樹 氏
取締役 古賀 沙織 氏

日 時 2026 年 9 月 1 0 日 (木) 午後 1 時～ 3 時
受講方法 会場受講／ライブ配信／アーカイブ配信(2 週間、何度でもご視聴可)
会 場 紀尾井フォーラム 東京都千代田区紀尾井町4-1 ニューオータニガーデンコート1F

[重点講義内容]

資源循環は脱炭素や資源安全保障の観点からますます重要性を増しており、特に銅をはじめとする非鉄金属への期待が高まっています。一方で、資源の循環を支える「モノの流れ」と、その価値を伝える「情報の流れ」が分断されているため、再生材の由来や環境負荷などの特性情報が十分に伝わらず、循環価値が市場で適切に認識・評価されていないという課題があります。

本講演では、NTT と三菱マテリアルが NTT サーキュラストを設立した背景とともに、情報とモノの流れをつなぐ事業構想をご紹介します。また、国際標準化(ISO)の動向を踏まえ、循環価値が選ばれる市場の実現に向けた今後の展望をお話します。

1. 非鉄金属(銅)に関する環境変化と資源循環への期待

(1)脱炭素・資源安全保障の高まりと銅の市場変化 (2)情報通信産業が取り組む意義

2. 循環価値が伝わらない理由

(1)情報の流れとモノの流れの分断
(2)循環価値を支える、由来・環境負荷などの再生材の特性情報

3. NTT サーキュラスト設立の背景と事業構想

(1)NTT と三菱マテリアルによる JV 設立の狙い (2)情報とモノの流れをつなぐ役割
(3)情報伝達プラットフォームと再生材事業が生み出す価値

4. 循環価値を支える国際標準化の動向

(1)ISO 標準化の最新動向 (2)情報の信頼性と標準化の重要性 (3)今後企業に求められる対応

5. 循環価値が選ばれる市場の実現に向けて

(1)情報が変わる資源循環市場 (2)NTT サーキュラストが目指す未来

6. 質疑応答／名刺交換

P R O F I L E 宮崎 敬樹(みやざき ひろき)氏

1998 年 日本電信電話株式会社入社

2024 年 日本電信電話株式会社 研究開発マーケティング本部 アライアンス部門 担当部長

2026 年 NTT サーキュラスト代表取締役社長

P R O F I L E 古賀 沙織(こが さおり)氏

2009 年 三菱マテリアル株式会社入社

2026 年 三菱マテリアル株式会社 マテリアル領域 資源循環事業部 事業開発部 部長

2026 年 NTT サーキュラスト取締役

